



郡上東氏^{とうし}八〇〇年
古今伝授^{ここんでんじゆ}五五〇年

郡上東氏^{とうし}800年
古今伝授^{ここんでんじゆ}550年祭
記念事業開催

800年と550年の背景

1221年 東氏が郡上を加領される

1471年 11代目(郡上東氏9代目)東常縁が宗祇に古今伝授を行う

2021年 郡上東氏800年・古今伝授550年祭スタート

お問合せ 古今伝授の里 フィールドミュージアム 〒501-4608 岐阜県郡上市大和町牧912-1 TEL:0575-88-3244

郡上市役所 大和振興事務所 〒501-4607 岐阜県郡上市大和町徳永585 TEL:0575-88-2211

令和3年度に岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を受けています 郡上市

とうし とうし 郡上東氏800年・古今伝授550年祭

鎌倉時代から室町時代終わりまで、約340年もの長きにわたり郡上を治めた領主・東氏。

もとは下総国しんせいのくに（現在の千葉県）に勢力を持った千葉氏の一族で、
東庄とうしょうに拠点を置いたことから「東」と名乗るようになりました。

その東氏が郡上の地を加領されたのは、1221年の「承久の乱」の戦功によるとされます。800年前のことです。

東氏一族は、武士でありながら、優れた和歌の詠み手でした。なかでも、郡上東氏9代目・東常縁とうのつねゆかりは、

『古今和歌集』の解釈等を師が弟子に秘説相承する「古今伝授」の“祖”といわれます。

文学史に刻まれる、連歌師・宗祇そうぎへの初度の「古今伝授」は、550年前の1471年のことです。

2021年は800年、550年という二つの節目が重なる年。

これを記念して、「郡上東氏800年・古今伝授550年祭」をスタートさせます。

2021年度の記念事業開催スケジュール

3月20日※開催終了	プレ講演「東氏と古今伝授」 講師：小和田哲男氏（歴史家）他 ※2020年度中
5月23日※開催終了	史跡ウォーキング 牧地区内の東氏ゆかりの史跡をめぐる
7月10日	連続講座（前半第1回）「和歌を詠む東氏一族」（※定員有・要申込） 講師：竹島一希氏（国文学者） 場所：古今伝授の里フィールドミュージアム
7月28日	夏休み子ども短歌教室（※定員有・要申込） 講師：清水春美氏 場所：古今伝授の里フィールドミュージアム
7月中旬～8月7日	「華麗なる能装束と能面」展 場所：古今伝授の里フィールドミュージアム
8月7日	新能「くるす桜」 場所：明建神社（※定員有・要申込）
8月	大和町内の小中学校の全児童生徒の短歌作品展示 場所：古今伝授の里フィールドミュージアム
8月21日・22日	連続講座（前半第2回）「東常縁の古今伝授」（※定員有・要申込） 講師：竹島一希氏（国文学者） 場所：古今伝授の里フィールドミュージアム
9月1日～27日	東庄（現・千葉県）の東氏ゆかりの史料などの特別展・9/11 講座（※講座は定員有・要申込） 場所：古今伝授の里フィールドミュージアム
9月20日	記念式典・記念講演「（仮）中世の武士と和歌」（※定員有・要申込） 場所：郡上市総合文化センター 講師：小和田哲男氏（歴史家）・佐佐木幸綱氏（歌人）・竹島一希氏（国文学者）
10月9日	第9回古今伝授の里・現代短歌フォーラム（※定員有・要申込） 昭和の郡上の短歌史から郡上の文化の諸相を探る。企画展も開催。 場所：古今伝授の里フィールドミュージアム
11月27日・28日	第27回古今伝授の里短歌大会（※定員有・要申込） 1日目：曲水の宴 場所：国名勝東氏館跡庭園 2日目：短歌大会 講演・選評他 場所：郡上市総合文化センター
秋頃	篠脇城発掘調査の出土品展示会 場所：古今伝授の里フィールドミュージアム
12月5日	篠脇城発掘調査中間報告会（※定員有・要申込） 講師：中井均氏（滋賀県立大学名誉教授） 場所：古今伝授の里フィールドミュージアム
12月18日	連続講座（後半）「東氏から出た五山の名僧たち」 講師：鈴木佐氏（千葉氏研究家）（※定員有・要申込）
2022年 3月5日	はじめてのわかりやすい短歌教室スペシャル歌会 講師：江戸雪氏（歌人）（※定員有・要申込） 場所：古今伝授の里フィールドミュージアム

2022年度以降も事業は続きます

※新型コロナウイルス感染症予防対策の点から、内容を変更したり中止したりすることがありますので、必ずご確認ください。

また、定員を設け、事前申込制としているものが多いので、参加にあたってはご注意ください。

※一部、参加費や入館料が必要な場合があります。

※詳しくは、ホームページやチラシなどでご確認ください。

古今伝授の里フィールドミュージアムHP <http://www.kokindenju.com/>